

国土交通省 大臣 北側一雄様  
長野県知事 田中康夫様

遠山川の明日を考える連絡協議会

## 天竜川水系・遠山川における新規砂防ダム建設一事の中止 および既存の砂防ダムの撤去と改修を要望する申し入れ書

私たち遠山川の明日を考える連絡協議会は、遠山川に現在計画されている3基の砂防ダムの建設に反対するとともに、既存の砂防ダムの撤去およびポイント化の改修一事を求めます。

かつて日本屈指の急流としてその美しい景観と豊かな自然を誇った天竜川も、現在ではその流れを寸断するダム群によって流域の生き物たちは甚大な被害を受け、土砂の供給が断られた河口付近の海岸線では著しい砂浜の後退が起きています。また、かつて豊かな自然を残しているその一大支流である遠山川上流においても、現在設置されている本谷砂防ダム・支流の北又砂防ダムおよび北又第2砂防ダムの影響で、流域に異常なほどの河床低下が起きているのが現状です。

その結果、上村川合流地点より下流では護岸の基礎部分が浮き上がる状態になって車道が崩壊したり、あるいは、南信濃村の小道木橋は橋脚の根元が掘り下げられたことが原因で、二十年あまりの間に二度も落橋し、また須沢地区周辺では地すべりが群発するといった有様で、周辺に住む人々の生活にも深刻な被害を及ぼしています。

更にこのすぐ上流に位置する下栗地区の集落は、遠山川右岸斜面の高地を切り拓いてつくられた独特の地理条件から、天空の郷と称される素晴らしい景観を生み出していますが、現在このすぐ近くには新たな砂防ダムの建設が予定されています。遠くはるか谷底に遠山川の清流を見下ろすこの風景は、コンクリートの巨大建造物が出現するとなれば、さらなる環境破壊が進むことは明らかです。これまで長い歴史を通じて大切に残されてきた貴重な日本の美が、そこでまたひとつ失われつつあるのではと憂う。

かつて大量の木材やサシキヌヌウナギなどが遡上し、流域の人々の暮らしを潤していた豊かな天竜川に、いま一度、再生の道しるを掲げることが、現代に生まれる私たち課せられた責任であり、未来に生きる子孫の義務であると考えます。そしてそのように考え方はすでに世界的な潮流でもあります。

以上のような理由から私たちは、まず第一に遠山川に新たに計画されている3基の砂防ダム建設を即刻中止すること、次に既存の3基の砂防ダムを撤去あるいはポイント化することによって下流の土砂の供給を促すこと、この二点を要望いたします。

なお、ご説明なご判断をいたしますようお願い申し上げます。

遠山川の明日を考える連絡協議会 代表 榊原正巳

### 申し入れ事項

- 1 遠山川に建設が予定されている3基の新規砂防ダムの建設を中止すること。
- 2 現在すでに設置されている本谷砂防ダム・支流の北又砂防ダムおよび北又第2砂防ダムの3基の砂防ダムについて撤去ないしポイント化の改修一事を施し、下流域への土砂の供給を促すこと。

遠山川の明日を考える連絡協議会

同じ趣意を持った団体、個人の方々を列記します。

遠山川の明日を考える連絡協議会 事務局 小池 卓  
住所 栃木県今市市木和田島 1567-1171

